



天津爆発事故事案多数の責任者逮捕

DW 时政风云 www.dw.com 2015-08-27

調査メンバーは、天津港災害背後にある縁故主義と安全生産規律制度違反行為を突き止めた。上層幹部が重大汚職の罪を問われた。官界では、ある役人が奇怪な死を遂げたという噂が広まっている。

(ドイツの声中文網) 中国天津港での爆発事故から二週間の後、当局が **23** 名の責任者を逮捕した。事故による死亡者数は **139** 人に増え、**34** 人が行方不明となっている。

中新社の木曜(8月27日)は、検査機関が、交通運輸部や天津市交通運輸委員会、市政府、監督管理機構及び天津港集団の責任者合計 **11** 名に対し、職務怠慢の罪の嫌疑で立件調査のため刑事強制措置を採った。このほかに、爆発を発生させた危険品倉庫が所属している瑞海物流会社とコンサルタント会社の中濱海盛の幹部 **12** 名が重大責任事故の罪や危険物質違法貯蔵の罪で、刑事拘留されて立件調査されている。中濱海盛安全評価観測有限公司の安全評価報告書に基づき、住民の住む住宅地から **600** メートルしか離れていないところにあった一般倉庫が危険品の貯蔵倉庫として許可されていた。

今月 **12** 日、当該危険品倉庫で大爆発が発生、広範囲に相当な被害が発生した。これまでのところ、**527** 名の負傷者が病院で治療を受け、うち **34** 名の生命に危険があるとされている。当該危険品倉庫では **700** トンのシアン化ナトリウムと数百トンのその他危険化学品が貯蔵されていた。

爆心地付近の **6** か所で水中のシアン含有量がかなり基準を超えていることが検出された。新華社報道では、そのうち一か所で検出されたシアン含有量は基準の **32** 倍であった。だが、報道は、検査がいつ行われたのかについては触れていない。当局は、事故発生地点周囲に建てられた隔離帯の検査結果では、大気中には有害物がなかったとしている。

事故原因についての調査では姻戚経済と重大な安全生産規定制度違反行為が見つかった。新華社は、瑞海会社の董事長于学偉と副董事長の董社軒はコネを利用して毒物倉庫の経営許可証を取得、且つ、一時期は経営許可証がない状況であるにもかかわらず化学品を輸送していた。董社軒は前天津市公安局局長の息子だとして報じた。

逮捕された責任者の中には交通運輸部の副巡視員 **1** 名や天津市交通運輸委员会主任、天津港有限公司総裁、危険品倉庫が所在していた濱海新区の計画・国土資源管理局副局長が含まれている。

政府筋報道によれば、中国国務院の天津港『**8.12**』特別重大火災爆発事故調査グループが内部調査に入り、関連当局は捜査力を強化し、犯罪嫌疑者に対する『手抜きなしの徹底的調査』をしている。

交通委員会審査処処長が墜落死

また、『原創財經』ネットワークの報道では、今朝早朝から、天津官界では同市交通運輸委員会行政審査処の処長董永存が、会社ビルで墜落死したということが伝わっている。ある工作人員は、『事故は突然のことで、(墜落の原因等は)まだ調査中だ』と語ったとのことだ。

報道では、天津港で『**8.12**』天津東疆保税港区瑞海国際物流有限公司危険品倉庫重大火災爆発事故発しの後、天津市交通運輸委員会は現在渦中におかれている。

『新京報』の報道：2014年5月4日、天津市交通運輸・港湾管理局が瑞海会社に危険化学品の試験営業を許可した。『天津東疆保税港区瑞海子交際物流有限公司の試験営業期間における港湾経営資格に関する批准文書』には、「瑞海会社の試験営業期間(2014年4月16日~2014年10月16日)中に港湾倉庫業務をすることに同意、且つ、そのコンテナヤード(コンテナへのバンニング作業区を含む)の試験営業に同意する。その面積は **1.8** 万平米、貯蔵物には圧縮気体 **2** 類の危険品や可燃性液体 **3** 類の危険品など **9** 種の危険品貨物を含める」とあった。

このことは、2014年10月から今年6月に正式に『2つの証明書』を取得するまでの期間、瑞海会社はずっと危険化学品営業の経営資格なしの『ストーリーキング』状態にあったことを示している。

<http://www.dw.com/zh/%E5%A4%A9%E6%B4%A5%E7%88%86%E7%82%B8%E6%A1%88%E5%A4%9A%E5%90%8D%E8%B4%A3%E4%BB%BB%E4%BA%BA%E8%A2%AB%E6%8D%95/a-18676630>

..... 以下は中国語原文

消息称杨栋梁已被纪委秘密调查半年多

DW 时政风云 www.dw.com 2015-08-27

调查人员查出天津港灾难背后的裙带经济和违反安全生产规章制度行为。高层主管被指严重渎职。官场中今早小范围内传说，一处级官员离奇死亡。

（德国之声中文网）中国天津港口爆炸事故发生2星期后，当局逮捕了23名责任人。事故中死亡人数升至139人，另有34人失踪。

据中新社周四（8月27日）报道，检查机关分别以涉嫌玩忽职守罪对交通运输部、天津市交通运输委员会、市政府、监管机构以及天津港集团共11名责任人立案侦查并采取刑事强制措施。此外，发生爆炸的危险品仓库所属的瑞海物流公司和咨询企业中滨海盛的共12名高管以涉嫌重大责任事故罪、非法储存危险物质罪立案侦查、刑事拘留。依据中滨海盛安全评价监测有限公司的安全评估报告，距居民住宅区仅600米的一个普通仓库被允许成为危险品储存库。

本月12日，该危险品仓库发生大爆炸，在很大范围内导致严重破坏。到目前为止，仍有527名伤者在医院治疗，其中34人生命垂危。该危险品仓库储存了700吨剧毒氰化钠和数百吨其它危险化学品。

在爆炸地点附近的6个地方检测出，水中氰含量严重超标。新华社报道说，其中一个地点检测出的水中氰含量超标32倍。不过，报道未说明，检测进行于何时。当局称，在围绕事故发生地点建立的隔离带的检测结果显示，那里的空气中没有有害物。

对事故原因的调查发现裙带经济和严重违反安全生产规章制度行为。新华社报道说，瑞海公司董事长于学伟和副董事长董社轩利用关系网，获取经营毒品仓库的许可证，并在一段时间里在没有经营执照的情况下运输化学品。董社轩是前天津公安局局长之子。

被捕责任人中包括交通运输部的一名副巡视员、天津市交通运输委员会主任、天津港有限公司总裁、危险品仓库所在的滨海新区的规划和国土资源管理局副局长。

据官媒报道，由中国国务院甜头的天津港“8·12”特别重大火灾爆炸事故调查组还将深入调查，有关当局还加大侦查工作力度，对涉嫌犯罪的“一查到底，决不姑息”。

交通委审批处长突然坠亡

另据“原创财经”网站报道，当地时间今早开始，天津官场小范围传播，该市交通运输委员会行政审批处处长董永存日前从单位坠楼身亡。一名工作人员称，“事发突然，（坠楼原因等）还在调查当中”。

报道指出，在天津港“8·12”天津东疆保税港区瑞海国际物流有限公司危险品仓库特别重大火灾爆炸事故发生之后，天津市交通委正处于漩涡正中。

《新京报》报道说，2014年5月4日，天津市交通运输和港口管理局批复了瑞海公司可以试运营危化品。一份《关于天津东疆保税港区瑞海国际物流有限公司试运营期间港口经营资质的批复文件》显示，同意瑞海公司在试营业期间（自2014年4月16日至2014年10月16日）从事港口仓储业务经营，并同意其在集装箱堆场重箱区（包括装箱区），面积1.8万平方米，储存包括压缩气体2类危险品、易燃液体3类危险品等9种危险品货物。

这表明，2014年10月至今年6月正式取得“两证”期间，瑞海公司一直处于未获运营仓储危化品审批资质的“裸奔”状态。